



運営に関する計画

平成29年度



大阪市立菅原小学校

大阪市立菅原小学校 平成 29 年度 運営に関する計画・自己評価 (総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題**【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】**

生活指導面では, 5 年生ではサポートセンター, 6 年では東淀川署の協力のもと非行防止教室を毎年開催している。そのため暴力行為を含め, 全体的な生活指導での事案は減少した。いじめについて校内アンケートによる自己評価では, 「みんなで助け合って協力する」の項目と「友だちの嫌がることをしたり, 言ったりしない」の項目はできたと思う児童が 80%以上となっている。達成した理由として, 読本「ひと・つながり」や「わたしたちの道徳」などを活用し, 年間計画に従って学習を行ったことと, 道徳の授業や人権学習を計画的に行うことで人権意識を高めることができたことがあげられる。このように人権教育は一定の成果を上げているが, いじめについてごく小さいものも含め調査した結果, かなりの数のいじめがあり, 最近の傾向として携帯電話やスマートフォンのトラブルからいじめに発展したものも数多くあった。家庭および地域と連携しながら発生の抑制と早期解決を図っているのが現状である。係活動や委員会活動については一定の成果を上げているが, 児童の意識を向上させ, もっと積極的な活動にしていきたい。

学校の情報公開の点においては, ホームページの年間の記事のアップ数が 200 回を超え年々閲覧数も増加している。しかし, 1 日の閲覧数は平均で 50 回に達していない。記事や配布文書のアップ数をさらに増やし, 閲覧数を増やしていきたい。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

学力向上については児童に, 課題を明確に持たせ, また興味関心を高めるため具体物や半具体物, ICT を効果的に活用した。さらにグループ学習やペア学習, 習熟別・少人数など学習形態を工夫することで基礎的・基本的な内容の定着を図っている。しかし, 全国学力・学習状況調査では正答率が年度によって全国平均と同程度であったり, 下回ったりと安定していない。無解答率は, どの年度も高い傾向がある。また, 学力が 2 極化傾向にあることも大きな課題となっている。全国体力・運動能力, 運動習慣等調査では, ショトルランなどの持久力の必要な項目や長座体前屈などの柔軟性の項目が全国平均を下回る。また, 運動習慣等の調査では, スマートフォンやテレビなどに費やす時間が長く, 運動や勉強に費やす時間が短くなっていることも大きな課題である。

中期目標**【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】**

○平成 32 年度の小学校学力経年調査・校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について, 「当てはまる(どちらかといえば, 当てはまる)」と答える児童の割合を 85%以上にする。

○平成 29 年度～32 年度の年度末の校内調査において, 学校で認知したいじめについて, 解消した割合を毎年 95%以上にする。

○平成 32 年度の校内アンケートにおける「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について, 「当てはまる(どちらかといえば, 当てはまる)」と答える児童の割合を平成 28 年度の全国学力・学習状況調査より毎年向上させる。

○平成 32 年度末の保護者アンケートにおける「学校は情報公開をよく行っている」と答える保護者の割合を 90%以上にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- 平成 32 年度の全国学力・学習状況調査における無解答率を平成 28 年度（6.65%）より 3 ポイント以上減少させる。
- 平成 32 年度の小学校学力経年調査における標準化得点を、平成 28 年度（96.9%）より向上させる。
- 特に課題であるシャトルランと長座体前屈の記録を、平成 33 年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、平成 28 年度より 5 ポイント向上させる。
- 平成 32 年度末の校内アンケートにおける「手洗い・うがいをしっかりし、健康に気をつけている」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を向上させる。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

全市共通目標（小・中学校）

- 平成 29 年度の小学校学力経年調査・校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を 80%以上にする。
- 平成 29 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を 95%以上にする。
- 平成 29 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。
- 平成 29 年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。

学校園の年度目標

- 平成 29 年度の校内アンケートにおける「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える児童の割合を平成 28 年度の全国学力・学習状況調査より向上させる。
- 平成 29 年度末の保護者アンケートにおける「学校は情報公開をよく行っている」と答える保護者の割合を 85%以上にする。

【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- 平成 29 年度の小学校学力経年調査における標準化得点を, 前年度より向上させる。
- 平成 29 年度の小学校学力経年調査における正答率 6 割以下の児童を同一の母集団で比較し, いずれの学年も前年度より 2 ポイント減少させる。
- 平成 29 年度の小学校学力経年調査における正答率 8 割以上の児童を同一の母集団で比較し, いずれの学年も前年度より 2 ポイント増加させる。
- 平成 29 年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて, 自分の考えを深めたり, 広げたりすることができていますか」に対して, 肯定的に回答する児童の割合を, 前年度より増加させる。
- 平成 29 年度の全国体力・運動能力, 運動習慣調査において, 特に課題であるシャトルランと長座体前屈の平均の記録を, 前年度より 2 ポイント向上させる。

学校園の年度目標

- 平成 29 年度の全国学力・学習状況調査における無解答率を前年度より 1 ポイント減少させる。
- 平成 29 年度末の校内アンケートにおける「手洗い・うがいをしっかりし, 健康に気をつけている」の項目について, 「当てはまる(どちらかといえば, 当てはまる)」と答える児童の割合を前年度より向上させる。

3 本年度の自己評価結果の総括

大阪市立菅原小学校 平成29年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現】</p> <p>全市共通目標(小・中学校)</p> <p>○平成29年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。</p> <p>○平成29年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害児童数を前年度より減少させる。</p> <p>○平成29年度末の校内調査において、新たに不登校になる児童の割合を前年度より減少させる。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <p>本年度、いじめの解消・解決のため、早期発見を目指し教育相談とアンケートを実施する。また、実態把握と共通理解のため、いじめ防止対策委員会を活発に活用する。</p> <p>指 標</p> <p>いじめアンケートを年3回、教育相談を必要に応じて行い、いじめ防止対策委員会を年10回行う。</p>	
<p>取組内容②【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <p>本年度、落ち着かない児童のクールダウンや指導のためスクールカウンセラーとも連携し、カウンセリングルームを活用する。勉強等にも対応できるようカウンセリングルーム等を充実させる。</p> <p>指 標</p> <p>カウンセリングルーム等の環境を改善し、活用回数を昨年度より充実させる。</p>	
<p>取組内容③【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】</p> <p>学校や家庭、児童の健全育成に関わる関係諸機関と連携し、防犯教室の開催及び情報交換と行動連携に努める。</p> <p>指 標</p> <p>防犯教室を2回開催する。必要に応じ、家庭と連絡を取り、校内ケース会議を行う。また、区役所とも連携したケース会議を行い、情報交換と行動連携に努める。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	

次年度への改善点

大阪市立菅原小学校 平成29年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現】</p> <p>全市共通目標(小・中学校)</p> <p>○平成29年度の小学校学力経年調査・校内調査における「学校のきまり・規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば, 当てはまる)」と答える児童の割合を80%以上にする。</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○平成29年度の校内アンケートにおける「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば, 当てはまる)」と答える児童の割合を平成28年度の全国学力・学習状況調査より向上させる。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容, 取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策2 道徳心・社会性の育成】</p> <p>元氣よくあいさつのできる子どもを育てるため, 児童会を中心に全学年で「あいさつ運動」に取り組む。</p>	
<p>指 標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「毎月の生活目標」に, 学期に1回あいさつに関する目標を入れ, 学期に1回あいさつ強調週間を実施し, 振り返りを行う。 ・校内アンケートで, あいさつの項目で「よくできた(だいたいできた)」と答える児童の割合を80%以上にする。 	
<p>取組内容②【施策2 道徳心・社会性の育成】</p> <p>芸術鑑賞によって情操教育を推進する。また, 社会見学および講師招聘での体験学習や学級活動での取り組みによって自尊感情を育てる。</p>	
<p>指 標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級で, 学期に1回以上「よいところ見つけ」などを行ったり, 学期に1回, 自己評価シートで自己分析を行ったりすることで, 自尊感情を高める。 ・芸術鑑賞を年1回、社会見学を各学年1回以上、体験学習を各学年1回以上行う。 	
<p>取組内容③【施策2 道徳心・社会性の育成】</p> <p>きょうだい学年による活動の活性化を図り, 異学年交流を深めるとともに, ゲストティーチャー派遣事業により, 「いのちと性」の教育事業, 子どものストレスマネジメント教育事業, 子どもの情報モラル教育事業を実施し, 自分や他者の価値観を尊重し, 相手を思いやる心を醸成する。</p>	

指 標 <ul style="list-style-type: none"> ・月 2 回以上, きょうだい学年による集会活動を実施する。 ・「いのちと性」の教育事業, 子どものストレスマネジメント教育事業, 子どもの情報モラル教育事業を実施する。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立菅原小学校 平成29年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】 学校の年度目標 ○平成29年度末の保護者アンケートにおける「学校は情報公開をよく行っている」と答える保護者の割合を85%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容, 取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】 ホームページや保護者会などで学校からの情報発信を常に行うことで, 透明性のある学校づくりを行う。	
指 標 ホームページの更新回数を300回以上, 閲覧数を20,000回以上にする。	
取組内容②【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】 地域と連携のなかでその人材を活用し, 防災訓練や見守り隊などの活動をより活性化させる。	
指 標 地域とかかわる行事を年4回以上行い, 学校と地域の連携をより深める。	
取組内容③【施策3 地域に開かれた学校づくりと生涯学習の支援】 PTA活動もホームページに紹介するなど, 地域やPTA とのかかわりについても情報発信する。	
指 標 地域やPTA活動についてホームページ等で紹介する回数を10回以上にする。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点

大阪市立菅原小学校 平成29年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A:目標を上回って達成した	B:目標どおりに達成した
	C:取り組んだが目標を達成できなかった	D:ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標(小・中学校)</p> <p>○平成29年度の小学校学力経年調査における標準化得点を,前年度より向上させる。</p> <p>○平成29年度の小学校学力経年調査における正答率6割以下の児童を同一の母集団で比較し,いずれの学年も前年度より2ポイント減少させる。</p> <p>○平成29年度の小学校学力経年調査における正答率8割以上の児童を同一の母集団で比較し,いずれの学年も前年度より2ポイント増加させる。</p> <p>○平成29年度の小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて,自分の考えを深めたり,広げたりすることができていますか」に対して,肯定的に回答する児童の割合を,前年度より増加させる。</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○平成29年度の全国学力・学習状況調査における無解答率を前年度より1ポイント減少させる。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容,取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <p>読書環境を整備し,読書における質と量の向上を図る。</p> <hr/> <p>指 標</p> <p>学年に適した蔵書を増やし,個別の読書カードを作成することによって,読書への意欲を高め,読書における質と量の向上を図る。</p>	
<p>取組内容②【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <p>学力向上を視点においた校内研修や研究を充実させる。</p> <hr/> <p>指 標</p> <p>全員参加型の研究授業・研究協議会を年6回,その他,研究授業や校内研修を30回以上行い,指導力の向上を図る。</p>	
<p>取組内容③【施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <p>家庭学習の習慣化(家庭学習プリント,自主学習ノートなど)を図る。</p> <hr/> <p>指 標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年2回家庭学習状況チェックを行う。 ・学期に1回以上,良い自主学習ノートを紹介し,意欲を高める。 	

<p>取組内容④【施策５ 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組】</p> <p>子どもの興味・関心を高めるため積極的な ICT の活用を行う。</p>	
<p>指 標</p> <p>タブレットや教室用パソコンなど ICT を使う授業を年間３５回以上行う。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

大阪市立菅原小学校 平成 29 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標(小・中学校)</p> <p>○平成 29 年度の全国体力・運動能力, 運動習慣調査において, 特に課題であるシャトルランと長座体前屈の平均の記録を, 前年度より 2 ポイント向上させる。</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○平成 29 年度末の校内アンケートにおける「手洗い・うがいをしっかりし, 健康に気をつけている」の項目について, 「当てはまる(どちらかといえば, 当てはまる)」と答える児童の割合を前年度より向上させる。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容, 取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <p>スポーツタイムを活用し, 体力の向上を図るとともに運動好きな子どもを育てる。</p> <hr/> <p>指 標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学期にスポーツタイムを学年の実態に応じて実施する。 ・各クラスで全員が遊ぶ「みんな遊び」を週 2 回以上実施する。 ・なわとび週間やかけ足週間を実施し, 記録カードにがんばりを記入することにより, 児童に意欲を持たせる。 	
<p>取組内容②【施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <p>体育の授業で, 体ほぐしの運動を行うことで, 児童の柔軟性を高める。</p> <hr/> <p>指 標</p> <p>体育の準備運動で, 体ほぐしの運動を必ず行う。</p>	
<p>取組内容③【施策 7 健康や体力を保持増進する力の育成】</p> <p>健康に関する強調週間や清潔調べの実施で, 児童の健康に関する意識を向上させる。</p> <hr/> <p>指 標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学期に 1 回, 「手洗い・うがい」の強調週間を実施し, チェックカードを作って振り返りを行う。 ・ハンカチやティッシュの携帯を意識づけるために, 週 1 回清潔調べをする。 	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
次年度への改善点